冬暖かく夏涼しい家
チャコの家
HOUSE OF CHARCO

完成が楽しみ『チャコの家』

福井市 Ｉ様 Part Ⅰ

雪解けを待って今年も『チャコの家』の工事が始まりました。

二世代の福井市のＩ様ご家族のお家は、一昨年から計画を進めていた親世帯の鉄骨住宅のリフォーム工事を昨年末に完成し今月から、いよいよ若夫婦世帯の『チャコの家』の新築工事に取り掛かりました。

まだ始まったばかりなのでお見せできる画像等は少ないのですが、工事の進捗状況と一緒に改めまして『チャコの家』のしくみをご紹介していきたいと思います。

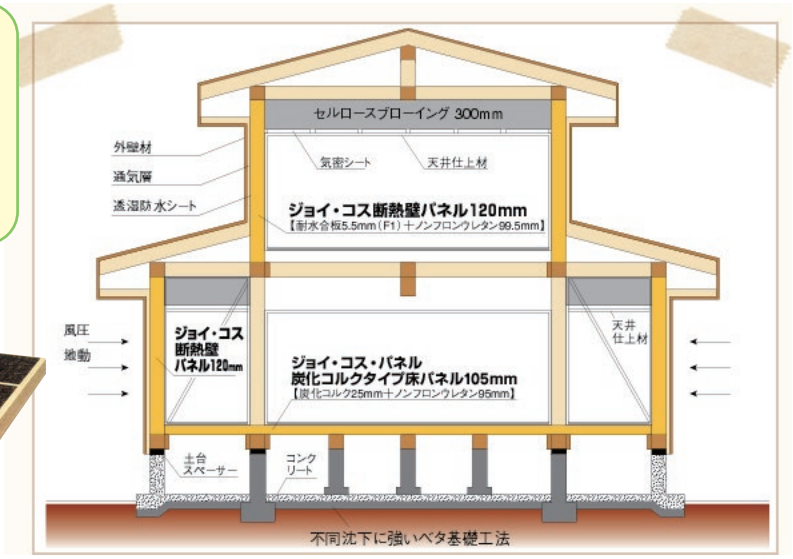
まず、２月23日に地鎮祭を開催しました。まだ粉雪もチラつきましたが、お天気にも恵まれ神主さんの進行により厳かに執り行われました。お陰様で私もキリリと身が引き締まる思いでスタートを切らせて頂きました。

その後、地盤調査の結果、地盤の強度を高める工事が必要とのデータが出ましたので、地盤改良工事も順調に進めていきました。現在は、基礎工事の真っ最中で、それに並行して『チャコの家』で最も重要な床パネルと壁パネルが福島県の工場からもうすぐ搬入される予定になっています。この後の建て方工事等もお天気に恵まれる事を願いつつ、着々と進めて参ります。

次に『チャコの家』のしくみについてですが、先ほどご紹介した断熱パネルは、床パネルが炭化コルク＋硬質ウレタンパネルの105ミリ。壁パネルはベニヤ＋硬質ウレタンパネル120ミリと頑固な作りになっており、何人もの大人がこのパネルに乗ってもビクともしません。これらが高気密高断熱住宅を作り上げるのにとっても重要な断熱材になっています。しかも、耐震、防音、結露等にも強力なパワーを発揮しており、その建物の中に第三種換気システムという換気装置を計画的に配置する事で冬暖かく夏涼しい『チャコの家』を実現しています。次回は、建て方やそんな頑丈な断熱パネルが納められた様子をご紹介できる事と思います。一生懸命、取り組んで参りますので次回も乞うご期待です！（社長）

厳かな地鎮祭の様子

地面の強度を強くする地盤改良工事

基礎工事、真っ最中

右の図のように、『チャコの家』は炭化コルク＋ウレタン断熱材で、住む人みんなを外気から守ってくれるとっても頼もしい高気密高断熱住宅なんじゃ。